



福岡医発第 178 号 (総)
平成 26 年 4 月 15 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について (報告)

謹啓 春暖の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記について、日本医師会より別添のとおり報告がありましたのでお知らせいたします。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業につきましては、福岡医発第 2076 号(総) (H24. 11. 27 付) にてご案内しておりますが、この度、「健康食品安全情報システム委員会」において、医療機関から寄せられた 5 件の情報について判定が行われましたので、過去の事例の判定結果と併せてご報告いたします。

日本医師会では、患者さんからの相談や日常の診療から知り得た健康食品による健康被害に関する情報を会員からご提供いただき、日本医師会において審議し対応策をまとめて還元し、診療にお役立て頂くとともに、国民に対する周知・啓発活動が行われております。

つきましては、健康食品による健康被害と疑われる同様の事例の発生等がありましたら、日本医師会地域医療第 1 課 (TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140) まで情報提供いただきますよう会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、「健康食品安全情報システム」の内容や判定結果は、日本医師会ホームページにも掲載されておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 島田昇二郎
会長 蒲池 壽

(地I6)

平成26年4月3日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

石 川 広 己



日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会「健康食品安全情報システム」事業につきましては、先般、平成24年11月19日付日医発第794号（地I161）の文書をもって、貴会にご案内申し上げます。

今般、本事業につきまして、会内「健康食品安全情報システム委員会」において5件の情報に関する判定が行われましたので、ご報告いたします。

詳細につきましては、下記の専用サイトに掲載しておりますので、ご了知の程よろしくお願い申し上げます。また、本会ホームページ メンバーズルームにも情報を掲載しております。

貴会管下地域におきまして、同様の事例の発生等がありましたら、本会地域医療第1課宛（TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140 担当：青木、土屋）にご連絡いただければ幸甚に存じます。

今後とも、本事業へのご協力につき、よろしくお願い申し上げます。

追って、いわゆる健康食品による被害に関しましては、本会ホームページのメンバーズルームにおきまして、世界各国の政府機関等で利用され、日本では国立健康・栄養研究所によるデータ情報にも使用されているナチュラルメディシン・データベースのWEB版を無償閲覧できるようにしております。

「健康食品安全情報システム」事業 都道府県医師会向けサイト

<http://www.med.or.jp/pshoku/index.html>

ID 9999 パスワード master

※ 恐れ入りますが、IDやパスワードを第三者に知らせることがないよう、お願いいたします。
また、メンバーズルームには、会員向け情報を掲載しています。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 事例一覧(平成22～25年度)

1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。

										健康食品安全情報システム委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品との関連性のエビデン	重篤度	治療の経過・転帰	判定実施日	判定結果
東京都	20130009	2014/1/20	2.女性	73	ロイヤルゼリー	大量腹水、黄疸(軽度)、急性肝不全(非昏睡型)、肝類洞閉塞症候群、肝生検未施行ですがエコーCT、MR施行。	無記入	4.重大な症状	3.未回復	2014/1/30	不実施
					グルコサミン						
					ビタミンB1誘導体フルスルチアミン、ビタミンB6、 ビタミンB12、ビタミンE						
					穀物麹						
					ごま酢						
					桑の葉						
					コエンザイムQ10						
					カルシウム						
					うなぎ肝臓						
					ビタミン類						
未記入	20130008	2014/1/9	2.女性	90	グルコサミン、鮫軟骨抽出物、発酵コラーゲン分解物	H25/9/14 定期血液検査でγ-GT45と上昇あり。9/20受診時にサプリメント中止を指示していた。サプリメント内服開始(H25/6)～10月まで自覚、他覚症状は著変なし。11月体調不良で緊急入院となり、現在フィッシャー症候群として他院入院中のようです。	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル2(要観察)
栃木県	20130007	2014/1/6	2.女性	67	ローズヒップ抽出物(ビタミンC1500mg バイオフラボノイド150mg)	2013年9月中旬より3種類のサプリメントを飲み始めた。10月中旬より左第2指、4指に腫脹や疼痛が出現した。症状が続いたため、10月下旬にサプリメントを中止したところ、軽快し	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3(要監視)
					ローズヒップ抽出物(マルチビタミン、ミネラル) アスタキサンチン(海洋生物に存在する色素、カロテノイドの一種)、ビタミンE、ビタミンC)						
					プロポリス、分離大豆たんぱく、蜂蜜、アーモンドフレーバー、セルロース、リン酸Ca、微粒酸化ケ みつばち花粉、蜂蜜、セルロース						

滋賀県	20130006	2013/11/15	2.女性	46	分離大豆たんぱく、果糖、アミノゲン、大豆油、亜鉛酵母、セレン酵母、アロエベラ、レシチン(大豆由来)、クロム酵母、ビール酵母、スピルリナ、イヌリン、リン酸Ca、香料、リン酸Na、ナイアシン、パントテン酸Ca、葉酸、ビタミンA、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミンC、ビタミンD、増粘剤(グァーガム)、甘味料(スクラロース、ステビア) アロエベラジェル、イソマルトオリゴ糖、レモン・ライム、クエン酸、酸化防止剤(ビタミンC、ビタミンE)	10/17よりサプリメント服用開始。 10/31両掌皮膚炎があり中止。両掌指間、手掌に小水疱を認め、その後落屑、発赤、かゆみは少ない。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル3(要監視)
愛知県	20130005	2013/10/03	2.女性	60	コエンザイムQ10	閉経後の不正出血、これまでに複数経験した報告ですから、上記身長体重などの数値は例です。	4.医学的に推定	1.その他	6.未記入	2014/1/30	不実施
熊本県	20130004	2013/10/15	2.女性	70	黒酢濃縮粉末	胃粘膜病変(黒酢によると思われる胃炎)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2014/1/30	不実施
兵庫県	20130003	2013/09/24	2.女性	74	コエンザイムQ10	平成25年2月26日より、コエンザイムQ10を服用し始め、同年3月下旬より下痢が出現し、続くため、同年5月11日に血液検査を行ったところ、GOT452 μ /l、GPT992 μ /lに異常高値を認め、同剤の服用中止を指示、同剤による肝障害と診断。	4.医学的に推定	1.その他	2.軽快	2013/10/31	レベル4(注意喚起)
埼玉県	20130002	2013/09/16	3.不明	84	クマザサ 昆布 サンゴカルシウム 乳酸菌 サメ軟骨 ビタミンB1, 2, 6	薬疹、手足(発赤、水泡を伴う疹多発)を中心に、顔、耳、体に発赤	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20130001	2013/09/13	2.女性	78	ヒアルロン酸含有鶏冠抽出物、ビタミンD	高カルシウム血症による歩行障害(血清カルシウム 12.6)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/10/31	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20120005	2013/01/19	2.女性	80	コラーゲンペプチド、乳糖、グルコサミン、セルロース、ショ糖エステル	肝機能障害、下腿浮腫、GOT323 GPT319 γ -GTP243と上昇。 9月14日より同健康食品を中止することにより、肝機能は改善された。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/01/23	レベル4(注意喚起)
東京都	20120004	2012/11/14	1.男性	84	DHA300mg、EPA100mg、セサミン10mg、その他	間質性肺炎(慢性)、労作時息切れ(平成24年8月頃から)	2.不明	1.その他	3.未回復	2012/11/14	レベル1(保存)
三重県	20120003	2012/11/09	2.女性	70	グルコサミン	1/26 GOT 18, GPT 15 7/11 GOT154 GPT 206 急激な肝機能異常で問いかけた。 7/23 GOT 257 GPT 265	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2012/11/14	レベル3(要監視)
石川県	20120002	2012/08/06	2.女性	60	天然ハスカップエキス、ブドウ種子エキス、モロヘイヤ、ビタミン類	胆汁うっ滞型肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2012/11/14	レベル3(要監視)
愛媛県	20120001	2012/10/31	2.女性	68	不明(一般的には、青汁は、ケール、大麦若葉ないし明日葉など)	平成17年頃から(顔以外)頭～体全体の発疹がでてかゆみがある。じんまし	2.不明	1.その他	2.軽快	2012/11/14	レベル1(保存)
愛媛県	20110006	2011/11/24	2.女性	48	還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料	全身のかゆみ	2.不明	1.その他	2.軽快	2011/12/01	レベル1(保存)
茨城県	20110005	2011/06/13	1.男性	50	クルクミン、秋ウコン末、春ウコン末	胃部不快、黄疸(T-Bil 24.72 D-Bil 17.91)、劇症肝炎(PT 34.2%)、AST1906 ALT2418	5.医学的検証済み	4.重大な症状	3.未回復	2011/09/29	レベル5(警告・禁止)

栃木県	20110004	2011/06/02	2.女性	62	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリーブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/09/29	レベル3(要監視)
静岡県	20110003	2011/05/17	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩、鮫軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。尿蛋白(++)、沈査(nubecula)クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/05/20	レベル3(要監視)
福岡県	20110002	2011/04/26	2.女性	32	独自ブレンド、ゼラチン他	毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常なしであったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんと診断を受けた。	2.不明	1.その他	3.未回復	2011/05/20	レベル3(要監視)
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
愛知県	20110001	2011/04/11	1.男性	83	ヒアルロン酸	●●を2錠/日飲んだら(9/11~9/18)、新鮮血を下血した。水様体の下痢も認めた。	2.不明	2.局所的症状	2.軽快	2011/05/20	レベル2(要観察)
青森県	20100002	2010/10/29	1.男性	63	シャークリバーオイル他	9月22日早朝より発熱(38度)と心窩部痛あり。当院受診にて診察、精査を施行。生化学検査で肝機能障害あり、内服薬及びサプリメントを中止させる。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2011/02/23	レベル3(要監視)
					ビルベリーエキス他						
福島県	20100001	2010/04/06	2.女性	61	茶	約3ヶ月間、内服を中止したことにより、血糖値の急激な上昇。4ヶ月間受診なし。	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2011/02/23	レベル1(保存)

<参考>

日本医師会「食品安全に関する情報システム」モデル事業 事例一覧(平成18年度～21年度)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
 2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
 3)ご提供いただいた情報の中には医薬品に該当するものもありますが、検討の上、本モデル事業の対象とした事案があります。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品との関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
沖縄県	20090009	2010/03/03	2.女性	64	豚プラセンタ(胎盤)、αリポ酸、コエンザイムQ10、アスコルビン	肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/03/04	通常審議情報	2010/03/23	レベル2(要観察)
石川県	20090008	2010/01/05	2.女性	78	グルコサミン1200mg、サメ軟骨200mg、ケルセチン45mg	血中LDLコレステロール異常上昇	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/01/05	緊急審議情報	2010/03/01	レベル2(要観察)
青森県	20090007	2009/11/26	2.女性	69	ヒュウガトウキ(日本山人参、Angelica furcijuga)ウコン	心窩部不快感と嘔気	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2009/11/26	緊急審議情報	2009/12/02	レベル4(注意喚起)
石川県	20090006	2009/10/06	2.女性	76	グルコサミン、麦芽糖、セルロース、ヒアルロン酸	9/9から1日3錠服用開始した。9/12に腹部、背部、腕、下肢に皮疹出現。9/14に服用中止したところ、9/18に皮疹が消失した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2009/10/06	通常審議情報	2009/10/15	レベル3(要監視)
青森県	20090005	2009/07/06	2.女性	80	コンドロイチン ざくろ Fish Oil カルシウム	性器出血、子宮内膜肥厚	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2009/07/08	通常審議情報	2009/08/05	レベル4(注意喚起)
青森県	20090004	2009/06/17	2.女性	66	濃縮熟成ニンニク抽出液、ニンジンエキス、ゴウチンキ、ロクジョウ流エキス、トシシエキス、イカリソウエキス	回転性のめまい、体のほてり、体重減少と共に血圧の変動を認めるようになった。	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2009/06/17	通常審議情報	2009/06/18	レベル4(注意喚起)
佐賀県	20090003	2009/3/9	2.女性	61	カニ甲殻、サメ軟骨、マメ科の植物(グルコサミン、コンドロイチン、ケルセチンプラス)	腕、両下肢、体全体の筋肉の衰えを自覚、ソワソワした不快感、体重減少(3kg)、足の震え	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2009/03/09	通常審議情報	2009/03/25	レベル3(要監視)
兵庫県	20090002	2009/01/27	1.男性	26	鉄分	健診目的で受診。肝機能障害(GOT50,GPT62,γ-GTP80)(2008.3.17 GOT24,GPT16,γ-GTP34であった)	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/28	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
福島県	20090001	2009/01/07	2.女性	70	プロポリス、エタノール	市民健診で肝機能異常発見。 A. 肝機能異常発見以前(05～07年:生化学検査) GOT、GPT、γ-GTP、総コレ、TG、HDL、クレアチニン、血糖・Hb1c各異常なし B. 肝機能異常発見日(08/10/10)末梢血・生化学検査 末梢血:異常なし γ-GTP191IU/L(0～35)、GOT41IU/L(10～40)、GPT45IU/L(5～45)、HDL、TG、LDL、クレアチニン各異常なし、血糖・Hb1c異常なし。 C. その後の検査結果(一部略) 08/10/29: GOT45、GPT55、γ-GTP90	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/8	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
千葉県	20080011	2008/11/20	2.女性	62	西洋カボチャ種子、クランベリー	夜間の頻尿があり、人に勧められ「パンプキン」服用したところ、めまい発作を繰り返すようになり、同時に眠気を来している。中止すると軽快し、服用すると症状が出てくる。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/11/20	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
石川県	20080010	2008/11/04	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩	血中LDLコレステロール上昇	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2008/11/10	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)

熊本県	20080009	2008/10/16	2.女性	89	グリコーゲン、含硫アミノ酸、ビタミン類、ミネラル類 イチョウ葉エキス コエンザイムQ10 黒酢、ニンニク	急性肝機能障害(全身倦怠感、胸痛)。 服用していた薬と食品を中止させ、点滴などの肝庇護療法を行って軽快した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2008/10/24	通常審議情報	2008/11/20	レベル4(注意喚起)
福岡県	20080008	2008/10/01	1.男性	43	マオウ、カンゾウ、レンギョウ、ダイオウ	<当該製品は医薬品>平成12年2月22日、GOT26,GPT26,γ-GTP61 8月30日、キッチンハイターの薄め液をコップ一杯誤って一気に飲んだ。その後気分不良なし。 PM4:30、会社健診で採血、GOT92,GPT223,γ-GTP688を指摘される。 9月初め、肝機能異常値の連絡があったので、以後禁酒し(従来酒2~3合/日)、ダイエット漢方薬も中止した。 9月25日、再検査時に来院。 GOT33,GPT60,γ-GTP209	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2008/10/01	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
青森県	20080007	2008/09/24	2.女性	75	鮭白子抽出物、鮭脳下垂体抽出物	最近家族より物忘れが強くなったと言われ、、服用する。服用により全身に発疹、中止すると改善する。 再び服用してから再び発疹を認める。	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2008/09/24	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
福岡県	20080006	2008/09/22	1.男性	81	ウコン	H9.6 γ-GTP(289) H18.7 GOT(138), GPT(184), γ-GTP(428)につき、飯塚病院でHCVⅡ抗体陽性につき H19.2北九州の病院でインターフェロンなどの治療を受けたが、以後消息不明	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2008/09/22	通常審議情報	2008/10/01	レベル1(保存)
沖縄県	20080005	2008/08/20	2.女性	63	乳酸菌生成エキス(死菌)	全身の紫斑(特に下肢)、凝固異常	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2008/08/20	通常審議情報	2008/10/01	レベル3(要監視)
沖縄県	20080004	2008/04/15	2.女性	48	黒酢	肝機能障害 GOT39 GPT61 ALP395 γ-GTP69に各々上昇 服用中に黒酢のみ中止させたら全て正常化した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/04/17	通常審議情報	2008/07/30	レベル3(要監視)
兵庫県	20080003	2008/03/04	2.女性	48	ダイオウ末、カノコソウ末、ケイヒ末、センキュウ末、ソウジュツ末、シャクヤク末、ブクリョウ末、トウキ末、コウブシュ末、ゴシュユ、ハンゲ、ニンジン、コウカ	<当該製品は医薬品> たまたま行った検査で肝障害を発見。 2007年6月14日、肝機能高値発覚、直ちに「命の母」の服用を止めさせ、プロヘパール2錠/日、ウルソを投与した。以前からの薬はそのまま継続、2ヵ月後にほぼ正常値に回復した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2008/03/04	通常審議情報	2008/03/19	レベル4(注意喚起)
岡山県	20080002	2008/02/25	2.女性	29	コーンシルクエキス末、ラフィノース、還元パラチノース、小麦抽出物、大豆タンパク、褐藻エキス末、シルクペプチド、ボスウェリアセラタ抽出物、ユッカエキス末、マカ末、グルコマンナン、カカオエキス末、L-カルニチンL-酒石酸塩、マテ茶エキス末、カロペプチド、ブドウ種子エキス末、松樹皮エキス末、黒胡椒抽出物、トウガラシ末、L-グリシン、L-アルギニン、サイクロデキストリン、クエン酸、カフェイン(抽出物)	躯幹の圧迫部(ブラジャー、下着)、関節部(腋窩、鼠蹊)に丘疹多発、融合傾向、kobner現象あり。腰では瘡癤様の丘疹を生じている。痒痒を伴う。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2008/02/26	通常審議情報	2008/03/19	レベル3(要監視)
福岡県	20080001	2008/01/10	1.男性	72	生薬(センキュウ、モッコウ、シャクヤク、コウブシ、コウカ(紅花)、丹参(タンジン))	じんま疹	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/01/10	通常審議情報	2008/01/30	レベル2(要観察)
岡山県	20070029	2007/12/26	2.女性	23	αリポ酸、コエンザイムQ10の合剤	低血糖症状、インスリン自己免疫症候群(αリポ酸による) 空腹時に手の震えなどの低血糖様症状が出現。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/12/26	通常審議情報	2008/01/30	レベル5(警告・禁止)

千葉県	20070028	2007/12/03	2.女性	56	エリスリトール、ローヤルゼリー、マカエキス、スクラロース、クエン酸	マカ・ゴールド・ロイヤルゼリーを服用して咽気・動悸の発症、近医で急性胃炎と診断		3.全身的症状	2.軽快	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
千葉県	20070027	2007/12/03	2.女性	68	還元麦芽糖水飴 ビタミン ビタミン	市民健診時の肝障害、突然発症AST 293、ALT383、 γ -GTP152		2.局所的症状	6.未記入	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
岡山県	20070026	2007/11/05	2.女性	41	酵母エキス、コエンザイムQ10、ハス胚芽抽出物、乾燥ビール酵母	毛穴がつまり(脂肪?)、同部に発疹を併発。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル3(要監視)
青森県	20070025	2007/11/01	3.不明	73	鮫軟骨 スピリリナ フラボノイド、イチョウ葉エキス、松葉エキス、ホスファチジルセリン	特に症状なし。一般検診時肝機能異常を指摘、若干の易疲労感はある	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)
石川県	20070024	2007/09/15	2.女性	58	グルコサミン、コンドロイチン、MSM(メチルサルフォールメタン)、ヒアロコラーゲン、ヒアルロン酸、ビタミンC スクアレン アルコキシグリセロール、オメガ3脂肪酸、ビタミンA、ビタミンE、ビタミンD	脂質コントロール悪化	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/09/19	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20070023	2007/08/21	3.不明	71	グルコサミン(カニ由来)、デビルズクローエキス、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル EPA含有精製魚油、ゼラチン、グリセリン、酸化防止剤(ビタミンE) ササエキスパウダー(ササエキス、デキストリン)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル 大豆油、コエンザイムQ10、ビタミンE含有植物油、茶抽出物、ゼラチン、グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル ギムネマ、プルラン 米胚芽油、紅コウジ末、サンフラワーオイル、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、レシチン ビルベリーエキス、ルテイン、カシス、ヒアルロン酸、コラーゲン、DHA、DNA、コエンザイムQ-10、イチョウ葉エキス、ラクトフェリン、 β -カロテン、ビタミンC、ビタミンB2、 β -カロテン、ビタミンB2、ビタミンB12、ビタミンE、コメ胚芽油、亜麻仁油、ブドウ種子油、大豆レシチン、ミツロウ スピリリナ、プルーン、イースト マグネシウム、鉄 ビタミンB アルファルファ草 レシチン(大豆)、ゼラチン、グリセリン フラボン(クリシン) 小麦胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン 貝カルシウム(ほたて)、ブドウ糖、粉末レモン果汁、酵母、酸味料、ショ糖脂肪酸エステル、ビタミンK2、カゼイン、香料、ビタミンD サンフラワーオイル、カロチノイド[マリーゴールド抽出物、トマト抽出物、藻類抽出物(デュナリエラ)、パーム油抽出物、ニンジン抽出物]、ブロッコリー芽エキス、グレープシードエキス、ゼラチン、ミツロウ、グリセリン スクワレン、セラミド含有小麦胚芽油、スターフルーツ葉抽出物、リンゴ抽出物、ハトムギ胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、着色料(酸化チタン)	体幹、四肢にそう痒の強い紅斑と色素沈着、紅色丘疹も見られ乾燥傾向も強く、治療に抵抗。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2007/08/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル3(要監視)

					フカヒレ軟骨抽出物、ボスウェリア抽出物、還元麦芽糖、大豆ペプチド、デキストリン、ショ糖脂肪酸エステル、とうもろこしたんぱく								
千葉県	20070022	2007/08/17	2.女性	60	ブルーベリー 黒酢 グルコサミン	定期採血時における突然の肝機能障害発症(AST189、ALT152、LDH 317)	3.医学的に疑い	3.全身的症状	6.未記入	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20070021	2007/08/13	1.男性	64	ウコン	3月(H19)より他人よりウコン譲渡され、肝底護目的で服用開始。飲酒も続けていたが、6月上旬尿黄染増強し、6/22当院受診。受診時黄疸認め、著明な肝機能異常を認めた。「薬剤性肝障害(疑)」	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
千葉県	20070020	2007/08/02	1.男性	48	グルコサミン、アセンヤク、オウゴン茎乾燥水製エキス、セルロース、ビタミンE、高級脂肪酸、二酸化ケイ素、クエルセチン、ルチン、ゼラチン	発熱、ぼーとする	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル2(要観察)
千葉県	20070019	2007/08/02	1.男性	73	ハブ茶、ハトムギ、玄米、どくだみ、大豆、ウーロン茶、柿の葉、クマザサ	糖尿病などにて治療中、平成19年3月3日当院に転送している。家人のすすめにて「毒だみ茶」を服用しているが、服用後必ず下痢症状を覚醒する。	2.不明	1.その他	2.軽快	2007/08/22	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
岡山県	20070018	2007/07/26	2.女性	55	クロレアエキス、クマザサエキス、田七人参抽出液、着色料、プロビレングリコール、保存料、pH調整剤	下痢(該当食品を摂取するたびに30分くらいして発症する)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/07/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
兵庫県	20070017	2007/06/14	2.女性	78	トルマリン(ケイ酸塩鉱物のグループ名)	血清鉄増加	3.医学的に疑い	4.重大な症状	1.回復	2007/06/14	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
石川県	20070016	2007/06/01	2.女性	65	玄米・胚芽・表皮、大豆、スピルリナ、茸抽出濃縮液(霊芝、舞茸、椎茸、冬虫夏草)、牡蠣殻カルシウム	目の周囲、頸部に皮疹(かゆみなし)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/06/01	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070015	2007/05/18	2.女性	80	玄米表皮、胚芽、大豆、玄米、スピルリナ、牡蠣殻カルシウム、麹菌	蕁麻疹	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/05/22	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070014	2007/04/24	2.女性	66	ピロリン酸第二鉄 サメヒレ軟骨エキス アガリクス	肝障害	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2007/04/24	通常審議情報	2007/06/13	レベル4(注意喚起)
青森県	20070013	2007/03/15	2.女性	58	プエラリア・ミリフィカ	臍部びらん	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2007/03/15	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
青森県	20070012	2007/03/06	3.不明	34	ザクロ マカ	なし(服用後の不快感のみ、動悸)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/03/06	通常審議情報	2007/03/28	レベル1(保存)
沖縄県	20070011	2007/02/28	1.男性	62	ノニ(ヤエヤマアオキより抽出)	急性肝炎(めまい、食思不振、意識混濁)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
長崎県	20070010	2007/02/27	2.女性	55	寒天、黒酢、アルファリボ酸	じんましん様発疹、皮膚かい痒	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
岡山県	20070009	2007/02/09	2.女性	69	プロポリス ビタミンC 大麦若葉粉末、桑の葉粉末、赤松葉粉末、トウモロコシ ローヤルゼリー アミノ酸 ヒアルロン酸 α-リボ酸 DHA(ドコサヘキサエン酸) マツ 田七人参、鯉内臓濃縮末、鮑貝殻エキス末、エビス草種子エキス末、菊花エキス末、クコの実エキス末、マリーゴールド色素、ハルコガネ花果实エキス末、ヤマイモ末、ショウガエキス	肝機能障害	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/02/13	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
岡山県	20070008	2007/02/02	2.女性	72	RNA、DNA、SAMENTO(キャッツクロウ)、コエンザイムQ10、ビタミン	ジンマシン出現	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070007	2007/02/02	3.不明	73	にんにく、卵黄	下腹部痛	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)

兵庫県	20070006	2007/01/31	2.女性 2.女性	68 68	はちみつ シャークリバーオイル(スクアレン)	18年2月ごろより両手、肘幹部、両足、小(紅)丘疹散発。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/01/31	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070005	2007/01/29	1.男性	79	不明 キトサン 黒酢	足がひび割れてつけなくなった(痛み)。 糖尿の悪化かもしれません。	2.不明	1.その他	3.未回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
兵庫県	20070004	2007/01/29	1.男性	88	卵	19日朝連続して3回下痢し、覇気なく、食べれるが普段から少量。	4.医学的に推定	2.局所的症状	1.回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)
長崎県	20070003	2007/01/18	2.女性	70	ノニ(巴戟天・モリンダ)	肝機能障害 GOT42,GPT35,LDH246,ALP396, γ -GTP68	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/01/19	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070002	2007/01/16	2.女性	54	香酢		2.不明	1.その他	2.軽快	2007/01/17	通常審議情報	2007/01/31	レベル1(保存)
石川県	20070001	2007/01/10	2.女性	75	擬黒多刺蟻、山伏茸、山芋、サネブトナツメ、黒ゴマ、ショウガ	最近になり舌が荒れるようになった。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/01/11	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
岡山県	20060001	2006/11/23	2.女性	66	クロレラ	心原性脳塞栓症発症(左片麻痺、失語症)	5.医学的検証済み	4.重大な症状	5.後遺症	2006/11/24	緊急審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)